

24

REEL No. A-0214

0245

アジア歴史資料センター

極秘

支那新中央政府成立ニ關スル宣傳方針

計甲	二	五	號
昭和十四年	十二月	四日	
内閣情報部			

第一方 針

支那新中央政府成立ニ關シテハ東亞新秩序建設ノ緊要性ヲ再認識セシムルト共ニ、新政府成立ノ意氣及汪精衛政權ノ性格ヲ闡明シ以テ汪政權ニ對スル舉國的支持ノ輿論ノ昂揚ヲ圖リ、一ハ其ノ發足ヲ有利ナラシメ且其ノ健全ナル發達ヲ助成シ、他ハ重慶側ノ抗戰意思ヲ破碎スルト共ニ、第三國ヲシテ新中央政府ニ協力スル様、之ヲ善導シテ事變處理ノ促進強化ニ資ス。

S 1.1.1.0 - 27 1818

0323

第二 對内要領

一、東亞新秩序建設ノ意義及緊要性ヲ再認識セシム。
 東亞ニ於ケル新秩序ノ建設ハ、我が警國ノ大精神ニ淵源シ、支那事變遂行ノ根本目的ヲ爲スモノナリ。即チ日滿支三國ハ、相操ヘテ政治、經濟、文化等各般ニ巨ル互助運環ノ關係ヲ樹立シ、之ヲ根幹トシテ東亞ニ於ケル國際正義ノ確立、共同防共ノ達成、新文化ノ創造、經濟結合ノ實現ヲ圖リ、以テ東亞永遠ノ安定ヲ確保シ、世界ノ進歩ニ寄與セムトスルモノナリ。而シテ此ノ事ハ帝國不勦ノ國是ナルノミナラズ、現下ノ國際情勢ノ動向ニ鑑ミ之ヲ完遂スルノ要一層緊切ナルモノアルヲ以テ、近ク支那ニ新中央政府成立シ時局ニ新段階ヲ翻セムトスル此ノ際、特ニ新秩序ノ意義及緊要性ヲ徹底確認セシムルヲ要ス。

二、汪精衛ヲ中心トスル新中央政府ハ、帝國ト操操シ共ニ東亞新秩序ノ

S 1.1.1.0 - 27 1819

建設ヲ分擔セムトスルモノナルヲ以テ、帝國トシテハ其ノ成立發展ニ對シ全幅ノ援助協力ヲ與フベキモノナルコトヲ強調ス。

帝國ハ夙ニ支那ノ全國民的基礎ノ上ニ立チテ自支新關係調整ノ方針ニ則リ、帝國ト肩ニ提携シ東亞新秩序ノ建設ヲ分擔シ得ルニ足ル新陣支那政權ノ成立發展ヲ期待シ居タルモノナル處、汪精衛及其ノ一黨ハ自身抗日ノ本據重慶ニ在リ乍ラ逸早く東亞新秩序建設ノ眞意ヲ理解シ、和平救國、日支合作ヲ念トシテ蹶起シ、同志ト共ニ純正國民黨ヲ再建シ、東ニ殷成政權其他各黨派ノ同舉具眼ノ士ヲ普ク糾合シ日支ノ互助共榮ヲ樞軸トスル更生新支那ヲ建設セムカ爲新中央政府ヲ樹立セムトス。

而シテ之ガ發達ニ伴ヒ、必ズヤ帝國ノ要請ニ應ヘ得ルモノタルベク、從テ新政府ノ成立ハ實ニ我が事變處理上ノ基礎工作タルベキモノナリ。仍テ帝國トシテハ、之ニ對シ物心兩面ニ亘リ積極的支拂ヲ與ヘ、

S 1.1.1.0 - 27 1820

0324

其ノ成立ニ協力シ其ノ健全ナル發達ヲ援助スベキモノトス。

尙ホ新政府ノ成立ハ飽迄支那側自體ノ自發的創成ニ因ルモノナルヲ以テ、日本ノ傀儡政府ナルガ如キ印象ヲ内外ニ與ヘサル様嚴ニ注意ヲ要ス。

S 1.1.1.0 - 27 1821

三、汪精衛ノ率キル純正國民黨ハ防共親日ヲ基本方針トシテ重慶政府ノ「抗戰建國」ニ對抗シ「和平救國」ノ實現ニ邁進シツ、アルモノナルコトヲ知ラシム。

中國國民黨第六次全國代表大會ハ、去ル八月汪ノ指令下ニ上海ニ於テ開催セラレ、先ツ黨ノ改組ヲ行ヒ、總裁制ヲ廢除シテ多年歪曲セラレタル三民主義ニ純正解釋ヲ下スト共ニ、黨綱領主義政策ヲ改メ和平反共、善隣友好ノ新政綱ヲ決定セリ。即チ汪ノ率キル國民黨ハ、茲ニ純正三民主義ヲ指導原理トシテ孫文ノ素志タル亞細亞ノ更生復興ニ發足シタルナリ。

而シテ新中央政府ハ、斯ノ如キ國民黨ヲ有力構成分子トシ、中華民政府ノ法統ヲ繼承スルモノナルヲ以テ、政府ノ名稱、首都、國旗（重慶側ト區別スル爲特別ノ工夫ヲ施ス）等國民政府ノ形式形態ヲ執ラムトスルモノニシテ、而モ此ノ事ハ新政府ガ民心ヲ把握シテ民力ノ發展ニ資シ、他面蔣陣營ノ離意解體ヲ促進シ、全支ノ混亂ヲ早

期ニ收拾セントスルモノナルヲ以テ、我方ハ之ヲ容認スルモ差支ナキモノトス。

四、新中央政府ヲ對手トスル日支新關係調整ノ基本方針ハ、日支百年ノ親善東亞永遠ノ安定ヲ期スル帝國ノ大衆的精神ニ立脚スルモノニシテ、概ネ左ノ如キモノナルコトヲ知ラシム。

(1) 支那ノ滿洲國承認、排日ノ禁絶其ノ他日滿支三國間ニ善隣友好ノ關係ヲ設定シ、

(2) 共同防共ノ結盟ヲ行ヒ、特殊ノ地域及特定地點ニ日本軍ヲ駐屯セシメ、(3) 共同互惠ノ原則ニ立チテ資源ノ開發利用等長短相補有無相通ノ經濟提携ノ實ヲ舉ゲムトスル

三大原則ノ實現ニシテ、領土ノ割讓又ハ戦費ノ賠償ヲ求ムルモノニ非ズ。(更ニ又右原則ノ具現ニ伴ヒ漸次支那ノ獨立完成ニ必要ナル治外法權ノ撤廢及境界ノ返還ヲスラ考慮スルモ各サカナラズ) 是レ實ニ日支兩國ノ關係ヲ大衆的基礎ノ上ニ再建シ、共ニ相携ヘテ東亞新

秩序ノ建設ニ邁進セムトスル所以ナリ。
 右ノ如キ日支新關係ノ實現スルニ於テハ、日滿支ノ經濟結合及帝威
 國防ノ強化並ニ我方國力ノ伸張ニ資スルノ大ナルコトヲ納得セシム。
 其新中央政府成立スルモ國民ハ一層堅忍持久ノ覺悟ヲ固メザルベカラ
 ザル所以ヲ會得セシム。

新中央政府ノ成立ハ、帝國ノ事變處理工作ニ一進展ヲ劃スルモノナ
 ルコト勿論ナルモ、重慶政府ノ長期抗戰ニ對シテハ飽迄之ガ壞滅ヲ
 圖ラザルベカラザルヲ以テ直チニ時局收拾ノ全面的解決ト見ルベキ
 ニ非ズ。而シテ新政府發達ノ途上ニハ尙ホ幾多ノ困難アルベク、又日
 支新關係ヲ純ル國際關係ニ於テハ、既ニ相當ノ摩擦存在スル實情ナ
 ルヲ以テ、更ニ綜合國力ヲ強化充實シテ強力日本ノ建設ニ邁進スベ
 ク、國民ハ毅然タル態度ヲ以テ長期持久堅忍不拔ノ覺悟ヲ固ムベキ
 モトトス。

第三 對支及華僑要領

對支及華僑宣傳ノ實施ハ、主トシテ在支機關及新政府側ニ於ケル措置
 ニ俟ツコト、シ、誠ニ左ノ方針ニ據ルモノトス。
 一、新中央政府ハ國民政府ノ法統ヲ繼承スル中國ノ正統政府ナリ。從テ
 政府ノ名稱、國旗（蔣介石側ト區別スル爲特別ノ考慮ヲ爲ス）首都
 ニ關シ變更アルコト無ク、又從來ノ國民黨ノ一黨專制ヲ廢シ、各黨
 各派無黨無派ノ士ヲ糾合シテ全民的基礎ノ上ニ立チ、反共、陸隣、
 憲政實施、均權共治ノ政治ヲ行ハムトスルモノナルコトヲ宣傳ス。
 二、新中央政府ニ依リ樹立セラルベキ日支新關係ハ、東亞ニ於ケル新秩
 序建設ノ理想ノ下ニ相互ニ本然ノ特質ヲ尊重シテ、互惠原則ニ基キ
 善隣友好、協同防共、經濟合作ヲ實現シ互助提携ヲ圖ルモノニシテ、
 支那ノ主權及領土ハ立派ニ保全尊重セラル、モノナルコトヲ強調ス。
 三、純正國民黨ノ再建セラレタル學賢及多年歪曲セラレタル三民主義ガ、
 孫文ノ素志ニ復歸シテ純正解釋ノ下ニ再生出發セル旨ヲ宣傳ス。

＊
 支那ノ主權及領土ハ立派ニ保全尊重セラル、モノナルコトヲ強調ス。
 三、純正國民黨ノ再建セラレタル學賢及多年歪曲セラレタル三民主義ガ、
 孫文ノ素志ニ復歸シテ純正解釋ノ下ニ再生出發セル旨ヲ宣傳ス。

S 1.1.1.0 - 27 1825

S 1.1.1.0 - 27 1824

0326

四、新中央政府ノ成立ニ依リ支那ノ主權ハ本政府ニ歸シ、重慶政府ハ主權ナキ偽政府トナリ、終ニ崩壊ニ至ルヘキコトヲ弔訓シ、諸外國モ早晚新政府ヲ援助承認スベキ旨ヲ宣傳ス。

五、王克敏梁鴻志其ノ他臨時維新等ノ政府ノ要人ガ夙ニ先覺以テ新東亞ノ建設ニ挺身盡瘁セル功績ヲ讃フルト共ニ、新中央政府成立スルチ臨時、維新等ノ政府ノ官吏卓人等ノ身分ハ保障セラルベク、又其ノ治下ニアル民衆ノ生活ニハ毫モ不安ナキコトヲ周知セシム。

六、汪精衛及其ノ一黨ハ孫文ノ遺教ニ則リ和平反共、睦隣友好ヲ旨トシテ歐寇セル救國濟民ノ志士ニシテ、支那民衆ハ之ニ依リテ必敗無益ナル抗戦ノ慘害混亂ヨリ救済セラレ、安居樂業ヲ享クルモノナルコトヲ宣傳ス。

七、尙ホ此ノ際更ニ皇軍武力ハ敵ヲ制壓シ改革ハ相次グ敗戦ノ結果抗戦力ヲ著シク消耗セル事實並戰爭繼續ニ對スル帝國ノ精神力、物質力ノ憂越ナルニ反シ蔣介石側ガ物心兩面共困窮ノ極ニ達シ居ル實情ヲ

宣傳シ、一ハ支那民心ノ把握ニ資シ他ハ重慶側ノ抗戰意識ノ挫折ヲ圖ル

第四對外要領

一、帝國ハ近ク新タニ成立セムトスル新中央政府ヲ支那ノ正統國民政府ト認メ、之ト協力シテ東亞新秩序ノ建設ニ當ル嚴然タル態度ヲ竭力ニ主張シテ、列國ニ於テモ此ノ發展の新事態ヲ率直ニ認メ、之ト提携スルコトノ得策ナルヲ悟ラシメ、以テ對日對支政策ノ根本的轉換ヲ速カナラシムルニ努ム。

二、帝國ノ新支那政府ニ求ムル國交調整方針ノ根本思想ヲ宣傳シテ、東亞百年ノ和平安定ヲ庶幾スル帝國國策ノ道義性ヲ會得セシムルニ努ム。

三、尙ホ新中央政府ノ對外政策及日支新關係等ノ表面化スルニ伴ヒ、右ニ應ズル具體的宣傳項目ハ追テ之ヲ定ム。